

被災地支援活動

餅とタケノコ汁

—好評だったアスパラ・餅つき実演—

6月25日に岩手県山田町大浦地区に支援活動に行ってきました。前日の大雨で実施できるのか心配でしたが、当日は雨も降らず暑くもなく絶好の支援日和となりました。

山田町まではマイクロバスと保冷車に26人が分乗し、片道約4時間の道のりでした。



現地には10時頃に到着し、餅つきとタケノコ汁の準備を始めると、おいしい匂いにつれられてか犬がはじめに来客してくれました。被災地の方は準備が出来る前から待ってくださっている方もおり、準備ができるまではワラビとタザワファームのレタスでおもてなししました。餅はきなこ・あんこ・ごまの3種類にレタスを添えて味わっていただきました。その後タケノコ汁ができあがり、おかわりする人や家族や友人に持ち帰る人がいっぱい、喜ばれていることを実感しました。

後半茹でたてのアスパラを1本ままた出しましたが、「美味しい」とひとりで何本も食べていて好評でした。また餅つきの実演を行い、現地の子供たちには餅つきの体験をしてもらいました。杵と臼を使っての餅つきの風習はないらしく珍しいようでした。

大浦地区には約330世帯があり、約100世帯が被災したそうです。



被災者以外は気を遣って訪れる方は少ないのではとの世話役の話がありましたが、約200名が

訪れてくれ、「味付けがよく美味しい」「ありがとう」との声をもらいました。今度は川魚や熊、きりたんぽが食べたいとの声もあり、次回以降の検討材料としていきます。

食事は500食準備していましたが、残り残ってしまいましたが、世話役に相談しながら、急遽、船越地区の仮設住宅にも足を運びました。船越地区には約50名が集まり、鍋等持参してもらい餅とタケノコ汁を提供してきました。

当初予定していた焼きタケノコは、前日の大雨でタケノコを採ることが出来ず実施できなくて残念でしたが、被災地の方に多く訪れてもらって交流できたことは嬉しいことです。



被災地は3ヶ月が過ぎたこともあり、大きな建物等は被災されたままですが、跡地は比較的片付けられましたし、仮設住宅も整いつつありました。そしてボランティアの方々が後片付けをしている姿も見受けられましたが、再建には長い年月がかかり継続した活動が必要になります。今後も運営体では大浦地区への支援・交流を行っていきますので地域の皆様のご協力願います。

県のホームページに荷葉載っています

—取材に協力を—

秋田県のホームページ内に、「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」というのがあります。農林水産業の低迷や過疎化に悩みながらも地域を元気にするためにがんばっている地域を応援するために作られています。

田沢地域運営体「荷葉」が応募したら取り上げてもらうことになりました。今後1年間かけて、様々な行事の取材や、地域が誇る自然や景観の写真、歴史的に貴重な建物・史跡・人物、いろんな名人など掲載します。そして最後に地域のイラストマップも作成します。そのために「秋田県」の腕章をつけた方が取材にきますので、その時は快く取材に応じてください。

ホームページには随時掲載されていきます。早速、茶立ての清水直売所オープンや花の苗植えが載っていますので、パソコンのある方は、県のホームページをのぞいてみてください。田沢出張所には内容を掲示しておきます。



花の苗植えました見に来て下さい

—多くの参加者で短時間で終了—

6月19日に茶立ての清水公園にベゴニア、ラベンダー等の花の苗を植えました。当日は田沢幼稚園の協力もあり、約40名と多くの参加者が集まりました。

参加者がいっぱい集まると嬉しく、会話も作業も弾み、約1時間ほどで作業は終了しました。いつもこんなにいっぱい集まってくると嬉しいし今後の事業の励みにもなります。

花は秋まで楽しめますのでぜひ足を運んでみて下さい。また秋までは雑草も茂りますので、草取りにも協力願います。



農村喫茶毎週火曜営業中

—出店があります—



4月からメニューにご飯類が増えました。婦人服や食料品、無農薬レタス、ヤクルト、パンの販売を行っています。

毎週火曜日の営業ですが、火曜日以外でも団体（10名程度以上）は受け付けていますので、会合等にご利用ください。食堂の電話は42-2511です。



田沢幼稚園 出前発表会 7月19日

田沢幼稚園では地域の行事と重ならない時期に、農村喫茶たざわで出前発表会を行います。1回目の発表が好評で継続しての活動となりました。田沢幼稚園に感謝。次回は7月19日ですのでぜひ見に来て下さい。元気いっぱいのパワーがもらえますよ！



7月10日（日）9時からプール掃除行いますので協力願います。